

中医鍼灸学のいろは！実践ツボ・バージョン

兵頭明

学校法人衛生学園中医学教育臨床支援センター

私たちの身体は、いろいろな部品の集合体ではなく、一つの有機的な統一体を形成しています。目、耳、鼻、舌などの器管の機能は、内臓の状態と密接な関係にあり、その内臓系統と諸器官とを連絡させている情報伝達システムが、経絡系統です。

そしてこの経絡系統上に一定の法則をもってツボが存在しているのです。ツボはからだに点在しているのではなく、内臓系統や諸器官を調整するための経絡系統のスイッチ、ステーションの役割を担っているのです。

健康を維持する力、体調を整える力、疾病を予防する力、症状を改善する力、美容をサポートする力、アンチエイジングの力、ウェルエイジングの力など、私達には本来いろいろな力が備わっているのです。その力をサポートしているのが、ご自身のツボの力なのです。

ツボとお友達になれば、治療にあたってこれほど強い味方はいないでしょう！それぞれのツボが、どういった局面で、どのように強い味方になるのか、まずその法則を一緒に把握しましょう！

20分ほどで、50～60のツボの臨床的な活用法を身につけてみましょう！

どの教科書にも書かれていません！

その習得法のコツ、古典にもとづく「選穴の方程式」を紹介させていただきます！

一、古典にもとづく選穴の方程式を身につけよう

① 経絡病証・経筋病証（運動器疾患、整形外科疾患）への応用

経絡弁証・経筋弁証にもとづく循経選穴＋局所選穴

◆ 選穴の方程式：榮穴、兪穴

② 臓腑病証、気血津液病証への応用

臓腑弁証・気血弁証にもとづく弁証選穴（＋循経選穴＋局所選穴）

◆ 選穴の方程式：原穴、背兪穴、募穴

二、ツボの虚実反応による東洋医学健診への応用

① 気・血・津液の循環障害（気滯・血瘀・痰湿）のツボ・チェック

② 臓腑の虚実反応のツボ・チェック [背候診、募穴診]